

**令和3年度**

**施政方針**

**筑紫野市**

本日、ここに令和3年第2回筑紫野市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、お忙しい中に御参集をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和3年度の予算案並びに関連議案の審議に先立ちまして、市民の皆さま並びに議員各位へ私の市政運営の基本的な考え方と予算の概要及び所信の一端を申し上げます。

まず冒頭、「令和2年7月豪雨」をはじめとする自然災害並びに新型コロナウイルス感染症により尊い命を失われた皆様に衷心より哀悼の誠をささげます。また、日々最前線で感染症に立ち向かっておられる医療現場、保健所、介護事業所、保育施設の皆さんをはじめ多くの方々の献身的なご努力に深い敬意とともに心から感謝の意を表します。

昨年を振り返りますと、全世界で猛威を振るい、未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスによるコロナ禍を目の当たりにし、私自身、改めて市民の安全安心を守るという思いを強くした年でありました。また、感染拡大のため、東京オリンピック・パラリンピックの開催準備をはじめ、様々な社会経済活動の抑制を余儀なくされ、深刻な景気後退は、家計や雇用にも大きな影響を及ぼしております。

このような情勢のもと、本市といたしましては、日々刻々と変動する国内外の政治、経済情勢を的確に見極めながら、第六次総合計画に基づき、市民の暮らしを支え、未来を育む施策を一步一步着実に進めてまいり所存でございます。

それでは、令和3年度の市政運営における方針、具体的な事業

について、5つの政策に沿って申し上げます。

## **政策1. 行財政改革**

まず、政策1「行財政改革」についてでございます。

第六次総合計画に掲げる5つの政策、28の施策を計画的かつ効率的に推進するため、費用対効果とスクラップ&ビルドを意識した事業の実施を徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少を見据えて、第三次財政計画に即した規律ある財政運営を行ってまいります。

昨年末の時点で1億8千万円、件数にして1万6千件を超える寄附を頂きましたふるさと納税については、自主財源の確保はもとより、本市の特産品を全国に発信する貴重な取組であると考えておりますので、地場企業の皆さまにご協力頂きながら、更なる推進を図ってまいります。

人材育成と組織の整備については、毎朝の朝礼や職員研修をとおして、法令遵守や服務規律の確保など市職員としての規範意識と資質の向上に引き続き努めるとともに、子ども・子育てに係る相談支援体制の充実を図るため、組織機構の見直しを行うこととしております。

市民サービスに関しては、国において行政手続のデジタル化が急ピッチで進められていることを踏まえ、マイナンバーカードの交付体制等を強化するとともに、各種証明書のコンビニ交付をはじめ様々な行政手続のオンライン化を進めることで、市民サービスの向上を図ってまいります。

## **政策 2. 産業・雇用をつくる**

次に、政策 2 「産業・雇用をつくる」についてでございます。

商工業の振興については、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた地場企業の皆様を支援するため、中小企業等緊急支援金や家賃軽減支援給付金、さらには地域活性化商品券の拡充などの支援策を講じてまいりました。引き続き、商工会をはじめとした関係機関との連携を図りながら、その時々感染症の動向に応じた支援策を検討してまいります。

企業誘致については、本市の地理的特性を活かしながら積極的に検討し、更なる雇用の創出に努めてまいります。

農林業につきましては、農業者の皆さんの生産性向上と担い手の育成を進めるとともに、森林環境譲与税を有効に活用しながら緑豊かな森林を保全するための方策を検討してまいります。

観光につきましては、情報発信を行いながら、県から交付される宿泊税交付金などを活用し、観光振興に努めてまいりたいと考えております。

## **政策 3. 生活をまもる**

次に、政策 3 「生活をまもる」についてでございます。

はじめに、高尾川・鷺田川の浸水対策につきましては、昨年 6 月、地下河川の暫定運用がなされ、出水期には時を同じく供用開始した鷺田川のバイパスとともに浸水被害への備えとしてその力を大いに発揮し、地元の期待に応えています。現在は、地下河川の仕上げ工事が進められており、間もなく竣工を迎えることとなっておりますので、最後まで気を抜くことなく取組を進めてまいります。

この他にも、防災・減災対策といたしましては、ハザードマップや出前講座による災害情報の周知と啓発に加え、筑紫小学校の法面崩壊防止工事など、ソフトとハード両面から対策を講じてまいります。

また、コロナ禍の中での避難所運営のあり方について、地域の皆様とともによりよい形、安心できる体制をつくりあげてまいりたいと考えております。

高齢者の支援につきましては、引き続き、地域包括ケアシステムの構築を進めてまいります。「ものわすれ・あんしんサポートチーム」や在宅医療と介護の連携等の取組を継続するほか、高齢者が抱える課題に応じた健康教育、個別支援を効果的に実施するための体制整備にも取り組むことで、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

次に、健康づくりにつきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を急ぎ進める必要があるものと考えております。県や医師会とも連携を図りながら、相談窓口の設置やクーポン券の発行など市民の皆様が円滑にワクチンを接種することができる体制を整備してまいります。

くらしの安全対策については、消費生活相談や事業者との斡旋、出前講座等による消費者教育などの取組を進めてまいります。

障がい者福祉については、「第3期障がい者福祉長期行動計画」等の計画に基づき、障がいのある方々の生活支援と社会参加の促進に取り組んでまいります。

セーフティネットについては、暮らしの困りごと相談窓口において、コロナ禍で必要性が高まっている住居確保給付金をはじめ、

市民の皆様の暮らしにまつわる様々な相談をお受けし、課題解決の糸口を共に見出してまいりたいと考えております。

人権尊重のまちづくりについては、人権都市宣言及び部落差別の解消の推進に関する条例の理念を踏まえて、同和問題の解決に向けた取組を進めるとともに、市民の皆様や地域、企業との連携を図りながら、すべての人の人権が等しく保障される心豊かな地域社会の実現に向けての啓発と教育に努めてまいります。

#### **政策４．共助社会づくり**

次に、政策４「共助社会づくり」についてでございます。

まず、地域コミュニティについてでございますが、昨年は、新型コロナウイルス感染症により活動が大きく制限される中、各コミュニティでは、イベントの在り方を工夫し、新たな企画を実施することで地域のつながりを紡ぎ続けることにご尽力いただきました。今後とも、防災、福祉、教育をはじめとした地域の課題や特色を踏まえた自助・共助・公助のまちづくりを、地域の皆様とともに進めてまいりたいと考えております。

また、「共助社会づくり」に不可欠となる市民の皆様、そして地域コミュニティへの情報発信につきましては、スマートフォンやタブレットにも対応した新たな市公式ホームページを公開するとともに、広報紙については、発行回数を現在の月２回から月１回とし、あわせて全ページフルカラーとすることで、あらゆる世代の方々にとってわかりやすく、筑紫野市の魅力がより一層伝わる、訴求効果の高いものを目指してまいります。

就任以来続けてまいりました「移動市長室」は、昨年未までに１０６回を数えるに至りました。市民の皆様の様々な活動を直に

拝見し、ご意見を伺うことができる貴重な場として、今後とも継続し、充実を図ってまいります。

## **政策5. 未来をつくる**

次に、政策5「未来をつくる」についてでございます。

はじめに、子育て支援については、喫緊の課題である待機児童の解消を図るため、引き続き、保育の受け皿整備を進めるとともに、新たに保育士に対する家賃支援を行うことにより、人材確保にも取り組んでまいりたいと考えております。

また、子ども達の健康増進と子育て家庭への支援の充実を図るため、本年4月から子ども医療費の対象を中学生の通院まで拡充することとしております。

学校教育については、小中学校トイレの洋式化を進めるとともに、児童数の増加が見込まれる筑紫小学校の校舎増築事業にも着手し、教育環境の充実を図ってまいります。

また、全小中学校に整備いたしましたタブレット端末を有効に活用し、本市がこれまで実践してきた教育と最先端のICT、それぞれの長所を生かしながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努めてまいります。

次に、青少年の健全育成と生涯学習・社会教育の推進につきましては、引き続き地域コミュニティをはじめ、関係機関、団体との連携を深め、青少年及び指導者の育成等に取り組むとともに、生涯の学びを通じた人づくり、地域づくりを推進してまいります。

歴史・文化の継承と振興につきましては、地域の皆様のご意見を伺いながら、昨年、日本遺産として広域認定を受けた宝満山や阿志岐山城跡、二日市温泉次田の湯や天拝山等の保存活用策を検

討してまいります。

スポーツ・レクリエーションの推進に関しては、長らく利用を中止しておりました山家スポーツ公園野球場について、地域の皆様のご理解とご協力のもと、場外への飛球を防ぐ防球ネットを整備いたしましたので、本年４月から地域の皆さまと協議をしながら、利用を再開したいと考えております。

次に、循環型社会の構築、生活環境の向上については、新たに策定する第三次環境基本計画に基づき、ごみの減量や環境保全に資する取組を推進するとともに、産業廃棄物にかかる諸問題については、法令を遵守しながら市としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

上水道、下水道事業については、引き続き水道ビジョンと下水道事業経営戦略に基づく健全経営と、計画的な老朽管等の更新に取り組んでまいります。

市街地の整備につきましては、筑紫駅西口土地区画整理事業の仮換地指定率が９５％を超えるとともに、都市計画道路筑紫原田線も完成まであと一息となっておりますので、筑紫野インター線、山口原田線とあわせて、早期完了に向けて事業を進めてまいります。

また、長年、懸案となっておりましたＪＲ二日市駅西口につきましても、ＪＲ九州との協議がようやく整いつつありますので、西側乗降口及び駅前広場の整備に着手してまいりたいと考えております。

筑紫駅西口の土地区画整理とＪＲ二日市駅西側乗降口が完成した暁には、まちの景観や人の流れが大きく変化することが見込まれますので、将来を見据えた交通体系についても並行して検討を



進めてまいります。

### 【令和3年度の予算編成について】

続きまして、令和3年度の予算編成についてでございます。

現在の市の財政状況は、これまで健全財政に努めてきた結果、令和元年度決算時点で、政令市を除く県下27市の中で財政力指数、経常収支比率ともに第2位となるなど、一定の健全な状態を保つことができております。

予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症に伴う新たな課題に対応しつつも、第六次総合計画を推進するため、一般会計については、対前年度比1.5%増の約323億5千万円を予算計上したところです。

歳入については、市税約123億5千万円、国庫支出金約71億3千万円などを見込んでおります。

歳出については、子育て支援、障がい者支援などに対応するため、扶助費を約4億9千万円増額しております。また、筑紫駅西口土地区画整理事業をはじめ、JR二日市駅地区整備事業や筑紫小学校の増改築に関する事業費を計上しております。

特別会計については、主なものとして、国民健康保険事業特別会計約99億2千万円、介護保険事業特別会計約66億3千万円の予算額を計上しております。

また、公営企業会計については、水道事業会計約27億8千万円、下水道事業会計約32億3千万円の予算額を計上しております。

以上、市政執行に対する私の所信と諸施策の内容を申し述べさ

せていただきました。

今後とも、「市民目線」「現場主義」「誠心誠意」という政治姿勢を大切にしながら、「市民が主役」の「ひかり輝くちくしの」づくりに、職員と一丸となって、全力で取り組んでまいり所存でございます。

市民の皆様、議員各位のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます、私の施政方針とさせていただきます。

